

## ヘルスエアー®の効果詳細（三菱機械室レス・エレベーター AXIEZ-LINKs カタログより抜粋）



ウィルス抑制

※ 実際の使用環境及び使用条件では同様の効能・効果が得られることは実証できていません。  
【試験機関】独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター  
【試験方法】25m<sup>3</sup>の密閉空間にウィルスを噴霧し、一定時間後に試験空間内の空気を回収し、その中にいるウィルスをプラーク法で測定  
【抑制方法】「ヘルスエアー®機能」ユニット内を通過  
【対象】浮遊したウィルス  
【試験結果】ヘルスエアー稼働有無で408分で99%抑制(仙医R1-001号)。試験は1種類のウィルスで実施。

脱臭

※ 脱臭効果は室内環境や臭気の発生量などによって異なります。たばこの有害物質（一酸化炭素等）は、除去できません。常時発生し続けるにおい成分（建材臭、ペット臭等）はすべて除去できるわけではありません。（当社調べ）  
【試験方法】乗用エレベーター11人乗りのかご（4.4m<sup>3</sup>）においてアセトアルデヒドを充満させ、一定時間後に空気中の濃度を測定し、脱臭時間を算出  
【脱臭方法】ヘルスエアー稼働  
【脱臭手段】触媒  
【対象（ ）内は測定方法】アセトアルデヒド（光音響ガスモニタ）  
【試験結果】ヘルスエアー稼働有無で44分で99%抑制。試験はアセトアルデヒドで実施。

菌

※ 実際の使用環境及び使用条件では同様の効能・効果が得られることは実証できていません。  
【試験機関】（一財）北里環境科学センター  
【試験方法】25m<sup>3</sup>の密閉空間に菌を噴霧し、一定時間後に試験空間内の空気を回収し、その中にいる菌を測定  
【抑制方法】「ヘルスエアー®機能」ユニット内を通過  
【対象】浮遊した菌  
【試験結果】「ヘルスエアー®機能」搭載 循環ファンJC-10K（強運転）の稼働有無で、388分で99%抑制（北生発2015\_0046号）。試験は1種類の菌で実施

花粉

※ 実際の使用空間での試験結果ではありません。  
【試験機関】ITEA株式会社東京環境アレルギー研究所  
【試験方法】空中に浮遊させたアレルギー物質を「ヘルスエアー®機能」ユニット通過後、サンドイッチELISA法で測定  
【抑制方法】「ヘルスエアー®機能」ユニット内を通過  
【対象】浮遊した花粉  
【試験結果】「ヘルスエアー®機能」ユニットの稼働有無での花粉抑制率88%（15M-RPTMAY021）。試験は1種類の花粉で実施

PM2.5

※ 実使用環境下での効果とは異なります。換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮しておりません。PM2.5とは2.5μm以下の微小粒子状物質の総称です。この循環ファンでは0.1μm未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。  
【試験方法】27.5m<sup>3</sup>密閉空間での試験。JEM 1467に基づく。循環ファンJC-10Kを運転。（強運転）  
【除去方法】「ヘルスエアー®機能」ユニット内を通過  
【対象】PM2.5  
【試験結果】ヘルスエアー稼働有無（風量:40m<sup>3</sup>/h）で370分で99%除去